令和２年　予算特別委員会7日目【教育費】

↓↓↓質疑応答↓↓↓

【松澤質問】

　私からは、３４９ページ、８３運動経費、３６７ページ、学校ＩＣＴ活用経費全般、そして３７１ページ、登下校区域防犯カメラ維持管理費、順不同にて質問いたします。

　まず、８３運動の経費についてです。まず８３運動の経費の使い道の説明をお願いいたします。

【有馬庶務課長答弁】

　８３運動の経費でございますけれども、こちらにつきましては、８３運動を進める上での推進委員会と協議いたしまして、毎年、啓発グッズというものをつくっている経費でございまして、今年度はピンバッジみたいなものを作成する予定で、今、つくっています。来年度はパトロールベストをつくっていこうかという経費で計上しているものでございます。

【松澤質問】

　啓発グッズということがわかりました。この８３運動というのは、小学校の登下校である８時と３時に沿って、用事を行いながら子どもたちを見守ろうと始まった運動と認識しておりますが、８３運動の理念として合っていますでしょうか。

【有馬庶務課長答弁】

　８３運動は、２００５年に品川区から始まった運動でございまして、そのときの主意書等を見ますと、そのときは、登下校時間、８時と３時に、大人も用事をしながら地域で子どもを見守りましょうというのがきっかけでスタートしております。今は、８時と３時に限らず、子どもが下校する時間に広く見守っていこうということで、運動が広がっているというか、そういったところの時間で活動しているところでございます。

【松澤質問】

　今、広く見守るというご答弁がありました。そうしますと、８３運動というものは、もう学校の枠というのですか、教育委員会の枠を飛び越えて、地域の見守り活動というものに位置づけるのが、理念として合っているのではないかと私は思っております。そういうところで、地域の見守り、８３運動についてのご見解をお聞かせください。

【有馬庶務課長答弁】

　この運動の主体は、あくまでも小学校ＰＴＡ連合会というか、８３運動推進委員会が中心になって、小学校のＰＴＡに働きかけているものです。ただ、そこから少しずつ広まっていまして、例えば最近で言いますと、高齢者クラブの方から、そういう見守りのベストがあったら配ってくれれば協力したいだとか、そういった声もございますので、徐々にＰＴＡだけではなく、町会の方々へも広がっているというところがあるのではないかと考えているところでございます。

【松澤質問】

　私は、ベストにそういう活用があるというのは全く知りませんでした。

　実はＰＴＡの保護者の方に聞いても、この８３運動というのはあまり理解されていない。これは、本当に残念です。私も実際、恥ずかしい話ですけれど、８時と３時に出ればいいという認識しかなくて、そういう理念の発案者である三木小学校のＰＴＡ会長にもお話を聞きまして、改めて、すばらしい見守り活動だということは認識しております。この８３運動というのは品川区発祥とお聞きしておりまして、やはり全国にも知れ渡っているすばらしい活動でありますので、いま一度、やはりしっかりした初心に戻り、地域で見守る８３運動となるよう、しっかりと要望いたしまして、次の質問に移らせていただきます。

　次は３６７ページ、学校ＩＣＴ活用経費です。昨年の決算特別委員会で、学校無線ＬＡＮにつきまして、プログラミングに対するタブレットの配付について質問し、今年度、全ての学校においてつながるとご答弁いただきました。先ほど、無線ＬＡＮは全校に設置するというお話がありましたので、無線ＬＡＮが全てにつながったかどうか、確認だけさせてください。

【篠田学務課長答弁】

　無線ＬＡＮの工事につきましては、今年度をもちまして全ての学校で終了するということで、一番最後の学校が、今ちょうど春休みの時期にかかるところで最後の詰めをしているところでございますけれど、今年度中には全て終わる予定でございます。

【松澤質問】

ＩＣＴ教育の環境が進むということは、リモート学習である、徳之島型と呼ばれる複式双方向型の指導といった幅が広がります。文部科学省では遠隔教育の推進に向けたタスクフォースも開催され、教育の幅が広がりを見せております。新型コロナウイルス感染症の影響で政府が打ち出した、小・中・高校や特別支援学校の臨時休校が急に決まり、決められたカリキュラムも終わらず、期間中の勉強体制を構築する時間もなく、教育現場は大混乱で大変ご苦労されたと思っております。一方で、日本にあるインターナショナルスクールや一部の学校においては、早速、ＩＣＴを使った遠隔学習、リモートラーニングを始め、自宅にて授業を受けておりました。こういったオンライン教室は海外では当たり前で、今後、インフルエンザによる学級閉鎖という場合にも対応が可能になるはずであります。品川区の教育においてのリモート学習をどのように捉えていますでしょうか。

【篠田学務課長答弁】

　現在、私どものほうでは、校内においては無線ＬＡＮという、ネットワークにつながる環境を構築しているのですけれども、学校の外に持ち出した場合、今、ＩＣＴ活用推進校の場合は１人１台、配付してございますので、自宅に持ち帰れるようにはなっているのですけれども、セキュリティーの観点からネットワークにはつなげないような状況になってございます。ですので、今後、将来的に、さまざまなセキュリティー等の課題がクリアできれば、そういう可能性はあろうかと思いますけれども、現状は学校外ではつながりませんので、リモートラーニング等はできないという状況です。

【松澤質問】

　セキュリティーの課題、いろいろな課題もありますが、関連しまして、リモート学習が拡充すれば、在宅や医療施設にいらっしゃる子どもたちと学校もつなげる。そういったことができますし、ＩＣＴ教育の推進は、特別支援学校においても、一人ひとりの個性と表現力を引き出す、欠かせないものとなるでしょう。文部科学省も推奨します、先ほども出ましたＧＩＧＡスクール。聞きましたら、品川区は早くからＩＣＴを取り入れているとお聞きました。全ての子どもたちへタブレットを配付し、インフルエンザによる学級閉鎖にも対応。在宅で学べる環境をつくるべきと考えますが、区教育委員会の考えをお聞かせください。

【篠田学務課長答弁】

　ＧＩＧＡスクールでございますけども、昨年末に国から、補正予算の中で出てきたものでございます。

　こちらは、校内通信ネットワークの整備と、児童・生徒１人１台端末整備というものを計画した団体に対して補助金を出すということでございますけれども、ＧＩＧＡスクールと言っているものでございますので、校内通信ネットワークの１ＧＢに対応した設備を入れなさいというのが大前提となってございます。

　私どもはこれまで、全部の学校で進めてきていますけれども、基本的にそこまでの能力ではなくて、１００ＭＢを基本としまして、アクセスポイントなどの機械は３００ＭＢ程度という形で整備してきてございますので、この状況では補助金を受けられないという形になって、今まで投資したものが全部、無駄になってしまうといったことがあり、今回、ＧＩＧＡスクールには乗っていないということがございます。ただ、いずれにしましても、将来的に見れば、１人１台というのは、いずれかの時点で判断していくことが必要になってくるものだとは考えているところでございます。

【松澤質問】

　将来的には、今、答弁いただきました、子どもたち全員にタブレットが配付されて、学習にばらつきが出ないよう、学習環境の整備を要望し、次の質問へ移ります。

　登下校区域防犯カメラについてです。この制度というのは、あくまでも子どもたちの通学路ということでしたら、要は地域にある防犯カメラとは管轄が違うと思いますが、教育委員会で、通学において危険と思われるような箇所は把握しておりますでしょうか。

【有馬庶務課長答弁】

　防犯カメラの関係ですけれども、まず通学路の安全点検というのを行っておりまして、そこで危険なところというのは、まず確認しているというのがございます。それから、登下校区の防犯カメラについても、これは学校のほうで、通学路に準じたところで必要なところ、危険な箇所というところで、各学校、４、５台ずつは防犯カメラを設置しているというものでございます。

【松澤質問】

　荏原第五地域センターの裏にあります住吉踏切は、車が１台ぎりぎり通れて、歩行者がすれ違うのは大変困難な場所であります。私たち地元の人は、あかずの踏切と呼んでいまして、車や自転車、歩行者が一挙に通行し、常に危険と、地域からのご相談も大変多いところであります。通学区域変更によりまして、戸越小学校の子どもたちは、豊葉の杜学園へ行く学区となり、この住吉踏切を使用することが大変多くなっております。そういった危険な場所に優先的に防犯カメラをつけていただきたいと思いますが、どうでしょうか。

【有馬庶務課長答弁】

　令和元年度、４５台ほど追加で設置している実態がございます。今後についてもまた見ていきたいと思います。